**積み重ねてきたことの価値を確認できました。**

大学生of the year 2012 準グランプリ

三好　真

＜プロフィール＞

高校時、関西ジャニーズとして活動。卒業後、海外投資で貯めた資金をもとに単身上京。

俳優として、ウルトラマンの準主役等を経験。その後、芸能界を引退し、予備校で1年間勉強した後、慶應義塾大学へ入学。入学後は、3社の経営に参画、6つのWEBサービスやアプリの立ち上げに関わる。また、スタンフォード大学へ留学し、最先端のマーケティングを学ぶ。現在、慶應義塾大学4年生。

▽大学生of the yearに参加してみて

当時、「自分が今までやってきたことは正しかったのか？」ということを確認する場所を探していました。チーム単位でなく、個人として評価していただけるのかという事を確認しておきたかったからです。そこで、大学生of the yearを知り、積み重ねてきた事を評価してもらえる可能性を感じ、応募しました。

出場した結果として、準グランプリを頂くことができ、それまで取り組んできた事に対する一つの節目になりました。また、他部門の出場者は、今まで会ったことがないタイプの人たちで、大いに刺激になりました。そのような出会いは、自分にとって視野を広げるきっかけになり、良い経験になりました。

▽いま、そして、未来へ

現在は、大学卒業や将来に向けて、勉学に励んでいます。今後、外資系のコンサルティング会社の海外支社への就職やシリコンバレーを拠点とした起業等、世界のマーケットを視野に入れてビジネスをしたいと考えています。

また、将来的には、NPO団体などを立ち上げたいと思っています。例えば、発展途上国の会社を大きくするために経営アドバイザーを担当するなども面白いかもしれません。発展途上国には、潜在性の高い人材や土地など活用できていないものが多くあると考えるため、多くの可能性が眠っていると考えるからです。

いくつか事業をやってきて感じたことは、自分が起業家タイプではなく、参謀的なタイプであった事です。自分で意思決定をするというより、戦略を立てて、意思決定者の支援をすることにやりがいを感じたからです。今後は、そのような自分の強みを活かして、利己的ではなく、誰かの役に立つことを追求したいと考えています。